

「授業で勝負」の理念のもと、確かな学力の定着を目指し、生徒が授業で力がついたと実感できるように授業改善を進める。

## 国語科

○電子黒板と Google Classroom の併用による効果的な学習例

- ・電子黒板やタブレットを使って課題を提示する。  
クラスルームに課題を配信する。  
課題の内容は、教科書にはない、図や表、文章を活用した思考・判断・表現が問われる課題を出す。  
Google Slide を活用し、生徒は記述問題にチャレンジする。



- ・交流タイム  
生徒同士でタブレットを持って、教室中の生徒たちがお互いに交流する。  
交流して、よい表現があれば取り込んで、記述解答を作成する。  
指導者は、手元のクロームブックで各生徒がどのように文章を作っているのかをリアルタイムで把握し、良いものを選んで電子黒板に写す。



- ・教科書本文と、課題との関連を確認し、答え合わせを行う。  
・授業後は、課題を Google Classroom で提出し、指導者は、その課題に対してデータ上で採点を行う。

## 理科

○ICTの効果的な活用例

- ・シミュレーションソフトの利用  
実際には目には見えない粒子などを可視化したモデルやシミュレーションを用いて、静止画では理解しづらい現象を科学的にとらえることができ、理解が深まる。  
シミュレーションでは、条件をそれぞれ生徒自身で設定でき、条件変化によってどのような変化が起こるのかそれぞれ試すことができる。

・1人1台端末を利用した授業展開

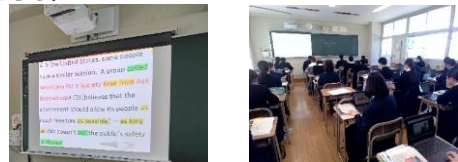
電子黒板と同じ資料を生徒の手元端末で見られるようにすることで、見逃した箇所を見直すことができたり、小さくてよく見えない部分は拡大して手元で見ることができる。



## 英語科

○電子黒板や1人1台端末の併用による効果的な学習例

- ・到達目標を確認する  
パワーポイントで提示されるので、一目瞭然で分かりやすい。
- ・英語アンケートに答える  
Google Form で質問に答え、即座にアンケート結果を共有し、興味・関心が高まり学習意欲が高まる。学習到達度に関する自己評価も即座に確認できる。
- ・レポートを提出する  
教科書の題材について、1人1台端末で調べ学習を行い、英語のレポートを作成し、提出する。意欲的に課題に取り組むことができる。



・リスニング問題を解く

リスニング問題を1人1台端末とイヤホンを使用して解く。集中力がアップする。また、聞き取りにくい部分を自分で再生して聞き直すなど、主体的に学習できる。



## 数学科

○ICTの効果的な活用例

- ・関数グラフ作成ソフトの使用  
生徒が自分で操作し、関数の係数を変化させて、グラフを動かすことで、主体的な学習となり、理解が深まる。  
グラフの変化の様子を動きとして視覚的に捉えることができるため、係数の役割についての理解が深まる。  
平行移動、対称性、周期性などのグラフの特徴の理解が深まる。
- ・デジタル教科書の使用  
書き込みや、拡大・縮小ができる。  
三角形、四角形や円など、自由に図形を作ることができる。  
説明に時間がかからないので生徒の活動時間を確保できる。  
臨場感・スピード感があり、生徒の集中力が高まるため、説明を聞いて理解を深める時間と自分で考えて問題を解く時間とメリハリがつく。



- ・スタディサプリや Teams の使用  
宿題配信、自宅学習の予習・復習、授業の補足説明などに利用している。  
類問提示、動画解説など、何度でも復習できる。

